

発行日；平成26年7月25日 発行者；起連区地域づくり協議会

## 【一宮市消防団長就任】

このたび平成26年4月1日付けで一宮市消防団長に就任いたしました渡辺勝でございます。これもひとえに起連区はじめ、消防団の諸先輩、後輩の皆さまのご支援のおかげとありがたく感謝しております。

昭和58年に、当時の尾西市消防団第一分団に入団し、その後、分団長副団長を経て今回の団長就任となりました。このことは大変光栄と思うと同時に、責任の重さを痛感しております。また、家族に支えられての結果と、家族にも感謝しております。

平成16年度に一宮市と合併があり合併後2年間は連合団として活動してきました。その後、団の統一が図られ現在25の分団があり、団員定数589名の一宮市消防団となりました。

統一後現在に至るまでには、旧尾西市消防団とさまざまな違いがあり各分団が慣れるまで少し時間がかかりましたが、今現在では慣れてスムーズな消防団活動ができ、地元の起分団も分団活動に励んでいます。

今後は起分団を応援し、一宮市消防団の向上に力を注いでいく決意でございます。

起連区の皆さまには、起分団と共に一層のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

一宮市消防団長 渡辺 勝



起字河田揚 渡辺 勝氏

## 【警防技術発表会に出場して】



さて、私たち起分団は6月15日に大和南中学校で行われた、一宮警防技術発表会に出場しました。これは毎年消防団が消防技術を競う競技会で、市内25分団の内、持ち回りで数分団が出場する大会です。私たちは大会に向け4月より週3回、合計30回に

渡り仕事が終わった夜間に練習を重ねて来ました。途中でケガ人が出たりとアクシデントもありましたがなんとか3位入賞を勝ち取りました。決して満足はしていませんが、この経験が実際の火災出動に役立つと実感しています。今後も分団活動に努力邁進して行きたいと思っておりますので応援をよろしくお願いいたします。

一宮市消防団南部方面隊 起分団 分団長 浅野充裕



## 【六斎ばやしの練習始まる】

今年もこの時期になりました。六斎ばやしの練習が起小学校で始まりました。今年の一年生会員は5名、2年生の新会員も1名増え、総勢28名です。昨年と同様中学生の会員にも残っていただき40名を超える大所帯となりました。

やっぱり子供は覚えが早い！3日目で上り・下り囃子の太鼓を覚えてしまってる。おじさんは5年もやってるのに（^^）：



## 【ひとり住まい高齢者ふれあい食事会】6月23日

今年の出し物は、マジックショー。手慣れた感じで淡々と進みましたが、ある時歓声があがりました。なんの変哲もない紙袋の中から5個の箱が次々と出てくる。もう無いかと思いきや6個目が。みなさん種の相談に「ざわざわ」。ただし、左端に居た私には種が丸わかり。「種はあかさないよ！」



本日、メインの食事です。「満足していただけましたか？」多くの方が残さず召し上がられ主催者側は「ほっ！」と一息

さて、お次はリクレーション。輪投げとボールころがし。みなさん真剣な顔つきでしたね。輪投げはちょっと難しかったかな。

和気あいあいの中進んだふれあい食事会。来年も新たな企画を考えます。期待してください。今年参加できなかった単身高齢者の皆さん来年はぜひ！

（一宮市社会福祉協議会起支会）

## 【盆おどりの練習が始まる】

「起音頭という名の踊りがあるのに起に盆踊りがないというのは淋しい。」「伝統を後世に伝えよ」「是非復活をさせて欲しい！」と多くの声をいただき、盆おどりを復活することになりました。

8月23日(土)盆おどり大会を開催します(予備日24日)その為の練習が起元気おどりの指導で始まりました。8月8日には一般向けの練習がありますので、是非参加してください。



## 【8月・9月の行事予定】

- 8月8日(金) 盆おどりの一般向け練習午後7:00~9:00 起つどいの里
- 8月14日(木) 濃尾大花火、六斎ばやしパレード午後1:30~3:00 起一円
- 8月23日(土) 盆おどり大会 午後6:00~9:00 起つどいの里
- 9月14日(日) 起連区自主防災主催 防災訓練 午前8:00~12:00 起小学校
- 9月28日(日) 起連区主催 敬老会 午前10:00~12:00 起小学校体育館



コラム起

### 【ふたつの起音頭】

起にはふたつの「起音頭」があるのをご存じでしょうか？

ひとつは、「ご存じの「起音頭からり節」(野口雨情作詞・中山晋平作曲)

もうひとつは、「おこし音頭」(竹内正夫作詞・作曲)まったく違う曲です。

この竹内先生の「おこし音頭」を探しても見つけられません。

唄を歌える方、踊りを踊れる方、レコードがあるよ、と言われる方を探しています。起連区長まで知らせてください。

追伸、「おこし音頭」を探しているとき副産物として、「起音頭からり節」には、ふたつの踊り方があるのを発見しました。

ひとつは皆さんご存知の踊り「赤堀流」。もうひとつは、「西川流」唄は同じでも踊り方は違いました。「西川流」も踊りやすい感じでした。